



国や県と連携し、率先したデジタル化の推進を！

答 ここまでおおむね順調に進んでいるものと考えている



筧本 語

問 デジタルビジョンの進捗状況は。

〔市長〕本市のデジタルビジョンでは「市民の利便性の向上」「市役所業務の効率化」「デジタル人材の育成」の三つの方向性を定め、デジタルを使った行政サービスを展開することとしています。

「市民の利便性の向上」については、令和5年1月27日に開設した市公式LINEを中心に、各種サービスを展開しています。

「市役所業務の効率化」については、人間の代わりにロボットが業務をこなしてくれるRPAや、手書きの文字をデータ化するAI・OCRを活用して、これまで職員が行っていた業務の自動化を進めています。

「デジタル人材の育成」については、市職員が、業務でデジタルに関する知識やスキルを発揮するための研修や伴走型の支援を実施しています。

スマホ教室やプログラミング教室も好評を得ており、皆さまのご協力をいただきながら、拡充をはかります。

問 デジタルビジョンの今後の展開は。

〔市長〕今年度からは新たに、集会所のオンライン予約や、公共施設の水道料金の支払い事務の効率化などにも取り組む、引き続き、ビジョンに定めた三つの方向性に沿った、各種施策の実現に取り組んでいきます。

また、令和7年度には、次期計画を策定したいと考えています。

各自治体が重点的に取り組むべき事項を国が定めた「自治体DX推進計画」が令和6年4月24日に改定され、さらなる住民の利便性向上に取り組んでいくことが示されました。本市もこれに呼応して、マイナンバーカードを使ったワンストップ窓口の導入など、市民の皆さまに寄り添った改革に取り組んでいきます。



「市民満足度が高いまちづくり」を目指したサービスの確立を！

追跡

あの質問 どうなった!?



一般質問で執行部が「協議します」や「検討します」と答弁した内容について、その後どのようになったのかをお知らせします。

ふるさと納税の魅力ある返礼品の充実について

令和3年12月議会

令和5年度から、運営委託事業者が変わり、江田島の地域特性を生かした返礼品を増やすよう取り組んでいます。

花卉や柑橘は、個人への直接販売の経験のない農家さんが多いので苦労していますが、少しずつトライしています。

水産物に関しては、カキの他にも、鯖のあぶりなど、少しずつ増えている状況です。

現在は、イリコ生産者にアップロードしています。



旧能美ロジ跡地の利用を含めた環境の整備や運営の検討について

令和4年9月議会

当初は事業化やフォトスポットとしてオブジェの設置などを検討しましたが、予算が厳しく、事業は進んでいません。

本年度は、スマホで楽しめるARを活用したフォトスポットの活用やイベント利用を計画しています。



江田島ARで検索

現地調査の概要

目的

・「グリーンセンターくれ」の現地調査を行い、処理施設の稼働状況の確認や、新たな施設との違いを把握し、また、広域ごみ処理体制における本市のごみ分別、収集方法などの方針の方向性を考えることを目的とする。

委員会での主な意見

・循環型社会実現に向けた転換期の中、環境負荷が少なく、高効率な新たな処理施設が必要であり、また、人口減少を見据えた施設規模にする必要がある。

・ごみの減量化のため、呉市ではプラスチックごみの分別回収に取り組み予定だが、本市で新たな方向性は示されていない。委員間で、本市もプラスチックごみの分別回収の取り組みを進めるべきとの意見や、呉市でプラスチックごみ収集体制づくりに苦慮している現状があり、方向性を変える時期は慎重であるべきとの意見、3市で話し合い方向性を考えるべきなど意見があった。

産業厚生 常任委員会

産業部、土木建築部、農業委員会、市民生活部、福祉保健部および福祉事務所の所管に関する事務

主な活動内容

- 5月8日 「グリーンセンターくれ」現地調査について
- 5月29日 「グリーンセンターくれ」現地調査
- 6月21日 6月定例会での付託議案の審議、採決
- 「グリーンセンターくれ」現地調査の意見まとめ
- 今後の調査事項について

グリーンセンターくれ

本市の可燃ごみの焼却処理をする「グリーンセンターくれ」は、運用開始から21年経過する。安定的なごみ処理の継続と、環境負荷の軽減をはかるため、呉市と本市、今治市の3市が参画し、令和5年3月に「呉市次期ごみ処理施設整備基本計画書」を策定し、令和12年度の運用開始に向け、新たなごみ処理施設の整備を進めている。

事業費における本市の負担割合は約1割であり、現時点の負担額の見込みは25億6000万円である。



ごみピット



中央制御室



プラットフォーム